

2019年7月17日
株式会社ネットプロテクションズ

ネットプロテクションズ 「国内スマホ決済」のカオスマップ最新版を公開！

～前回調査より約15個のサービスが増加、なかでもクレジットカード登録不要のサービスの増加が顕著～

新しい信用を創造するCredit Tech（クレジットテック）のパイオニア、株式会社ネットプロテクションズ（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：柴田 紳、以下当社）は、「国内のスマホ決済カオスマップ」を更新し、最新版を公開いたします。

■日本のキャッシュレス化の現状

現金決済に比べ、キャッシュレス決済は支払時の利便性や安全性が高く、消費者・事業者の双方にメリットが多いため、世界的に注目されています。

例えば中国やスウェーデン、デンマークなどでは、実店舗での支払いはキャッシュレス主流となっています。一方で未だに日本は現金派が多く、キャッシュレス決済はあまり浸透していません。

こうした状況を踏まえ、日本政府はキャッシュレス化の推進を図り、2025年までにキャッシュレス決済比率40%を目標に掲げています（※）。

それに呼応するように、従来よりスマホ決済を提供していたLINEやNTTドコモなどに加え、ソフトバンクグループやヤフーなどの大手企業から小規模ベンチャー、さらにはメガバンク・地方銀行までが、スマホ決済市場へ続々と参入しています。その結果、多くのスマホ決済が乱立しており、消費者や事業者にとって各サービスの特徴や強みが分かりにくい状況です。

（※）平成30年4月 経済産業省『キャッシュレス・ビジョン』

URL：<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180411001/20180411001-1.pdf>

■キャッシュレス手段の一つとしての国内スマホ決済の現状

キャッシュレスの手段としては、従来から「クレジットカード」、「電子マネー」、「デビットカード」などが存在しましたが、現在はスマートフォンでの決済サービス（以下、スマホ決済サービス）もあります。なかでも、「QRコード」を利用したスマホ決済サービスは、近年急速に増えており、多様なサービスが並ぶ状態となっています。加えて、各サービスにおいて、消費者の認知獲得のための還元キャンペーンが加熱しています。そのため、各社サービスの特徴はありながらも、短期的にはお得か否かの情報に注目が集まってしまっている傾向が見られます。

これを受けて、当社ネットプロテクションズでは、昨年スマホ決済サービスを整理し、カオスマップを作成しました。そして、約1年が経過した本日、既存サービスの機能追加や、新規サービスの増加を受けて、新たに情報を追加・更新したカオスマップを公開いたします。

本プレスリリースでは、カオスマップによるサービスの整理と、情報更新を通じて見えてきたスマホ決済サービス界の全体感について解説いたします。還元等の一時的な「お得」情報ではなく、決済タイミングや利用に必要なモノ・情報といった、顧客体験による分類によって消費者にとってより最適なサービス選択に寄与し、国内のキャッシュレス化促進に貢献してまいります。

■「国内スマホ決済」の caos マップを更新

この度、当社ネットプロテクションズは、約1年ぶりに caos マップ更新いたしました。この間も、スマホ決済サービスの増加が見られましたが、その増加傾向についても一定の特徴がございましたので、以下その特徴を解説いたします。

主な変化点とサービス分布の特徴

〈概要〉

前回作成時からの大局的な変化の特徴として、「クレジットカード必須のサービス」よりも「クレジットカードなしでも利用可能なサービス」が増加している流れが確認できます。

利用者目線に立った際にこれまでのクレジットカード登録方式のサービスは、「クレジットカードを保有していない層」や、セキュリティへの不安感から、「持っただけでも情報登録に抵抗感のある層」が利用しにくい状態でした。そのため、約1年の間に「クレジットカードなしでも利用可能なサービス」が新規に増えたと考えられます。

〈詳細〉

約1年前のスマホ決済概況

約1年前の caos マップ作成時は、スマホ決済サービスの多くを「クレジットカード登録方式」の決済サービスが占めていました。背景には、消費者の後払い決済へのニーズの高さが考えられます。実際、当社にて調査した「キャッシュレスに関する消費者の意識調査」(<https://atone.be/news/2018/0731001.html>)では、実店舗での決済方法として後払い決済が望まれていることがわかります。(※)

しかしながら、消費者の後払い決済ニーズに対して、これらクレジットカード登録方式のサービスが応えられる範囲は限定的です。なぜなら、クレジットカード登録方式の決済方法は「クレジットカードを保有していない層」、「クレジットカードを持ちながらも情報登録に抵抗感のある層」にとっては利用しづらいからです。

(※)「Q4、実店舗（ネットショッピング以外）でのお買い物について伺います。購入をする際利用してみたいと思う決済方法（支払い方法）をすべてお選びください。」という問いに対して、後払い決済が55%で1位、クレジットカード決済が37%で2位、プリペイド決済（電子マネー等）が25%で3位と、後払い方式の決済手法が1位、2位を占めるほどに人気の決済手段となっております。

直近約1年間での変化

このように現在拡大中のスマホ決済サービスについて、2018年段階では「クレジットカード登録を必要とする後払い決済サービス」が大きな割合を占められており、「クレジットカードを保有していない層」「情報登録に抵抗感のある層」の想いに応えるサービスは多くありませんでした。

上記に対し、この一年間は「クレジットカード登録を必要としないサービス」の増加がみられています。そのため、「クレジットカードを保有していない層」「クレジットカードの情報登録に抵抗感のある層」にとっては、よりキャッシュレス化に踏切りやすい状況です。。

なお、「クレジットカード登録を必要としないサービス」の増加傾向についても、さらに以下3つの分類に即して特徴が見られます。

▼「クレジットカード登録を必要としないサービス」の分類

- (1)前払い（銀行・コンビニ等からチャージ）
- (2)即時払い（銀行口座紐づけなど）
- (3)“クレジットカードを登録しなくても良い”後払い決済

直近約1年間でわかりやすく増加が確認できたのは(1)(2)でありそれぞれ下記が挙げられます。

- (1)「ファミペイ」、「セブンペイ」といったコンビニ系決済サービスなど
- (2)銀行payを中心とした各銀行の決済サービスや、各銀行独自の決済サービスなど

「クレカ登録を必要としない”後払い決済”サービスの増加」について

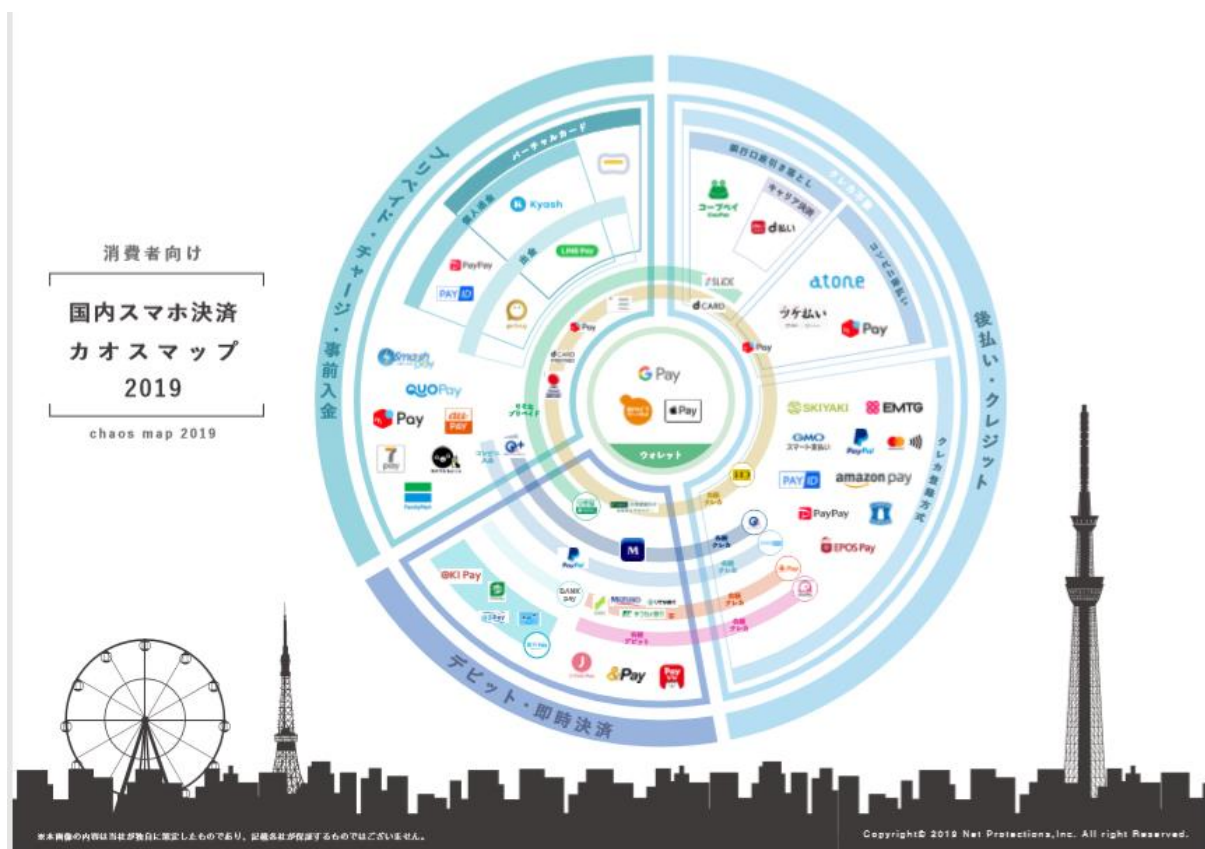
他方、昨今動きが出始めたのが(3)の領域：「クレジットカード不要の後払い」方式の決済サービスです。この領域は、先のアンケートで最も人気であった領域であり、これまで

- ・クレカ登録方式の後払いでは満たせなかった、「クレカ不要」
- ・クレカ不要ではあるものの、前払い型・チャージ型では満たせなかった、「後払い」

という、消費者の求めるそれぞれの要素を満たす決済方法となります。

現在「クレカを必要としない後払い領域」に新規の参入が見られ、例えば、すでに、前払い方式でサービスを提供していた「merpay」は、クレカ不要の後払い領域へと参入しており、また、ソゾグループとコイニー社が共同で提供する「ツケ払いpowered by Coiney」も実店舗でのスマホ決済が可能となります。

このように、クレカ不要の後払い領域は、「クレカ不要」「後払い」が可能という、消費者目線に立った際今後新たにサービスの参入が予想される領域ではあるものの、決済会社自身がリスクを保証する必要がある領域のため、参入可能な企業は限定的とも言えます。



カオスマップ 用語解説

用語	解説
プリペイド・チャージ・事前入金	お会計よりも前に入金し利用する決済サービス
デビット・即時決済	お会計と同時に代金を銀行口座から引き落とす決済サービス
後払い・クレジット	お会計成立後に代金を支払う決済サービス
バーチャルカード	アプリ内で仮想のプリペイドカードを発行し利用できる決済サービス
個人送金	アプリ内の残高を個人間で送金しあえるサービス
出金	アプリ内の残高を自分の銀行口座に振り込めるサービス
クレカ登録方式	クレジットカードの登録を必要とするサービス
クレカ不要	クレジットカードの登録を不要とするサービス
キャリア決済	携帯電話料金と合わせて代金を支払うサービス
コンビニ後払い	請求書を用いてコンビニ等で代金を支払うサービス
ウォレット	電子マネーやクレジットカードをスマホ上で管理するソフトウェア
銀行口座引き落とし	事前に登録した銀行口座から月締めなどで代金が引き落とされる決済サービス

※2019年6月現在、公表済みのサービスでも、詳しい情報を開示していないものは掲載していません。

※本カオスマップは当社独自に作成しており、サービスの網羅性や正確性を完全に担保するものではありません。

※掲載に問題がある場合や、次回更新時に掲載を希望する場合はこちらまで (netprotections@vectorinc.co.jp) ご連絡ください。

当社は今後も、数少ないクレジットカード不要の後払い決済サービスの提供事業者として、消費者のニーズに応えるとともに、事業者の売上向上にも寄与してまいります。

■「atone(アトネ)」について

「atone」は、通販でも実店舗でもスマホのみで簡単にお買い物ができる、快適でお得な新しいカードレス決済サービスです。

購入者はクレジットカードがなくても、無料の会員登録をすれば誰でもすぐに利用を開始できます。携帯電話番号とパスワードの入力だけでお買い物が可能で、代金は翌月にまとめてコンビニでお支払いいただけます。さらに「atone」でお買い物をするとポイントが貯まり、代金の値引きに利用することが可能です。

事業者は「atone」を導入することで既存の決済方法にはない利便性を購入者に提供できるため、より幅広い顧客の獲得が期待できます。さらに1.9% + 30円～という決済業界最安水準の手数料で導入できることも特徴です。

「atone」の詳細はこちら：<https://atone.be/shop/>

■株式会社ネットプロテクションズ概要

当社はテクノロジーを活用して新しい信用を創造する「Credit Tech（クレジットテック）」のパイオニア企業として、あらゆる商取引を円滑にしていくことを目指しています。2002年より、日本で初めて未回収リスク保証型の後払い決済サービス「NP後払い」の提供を開始し、前年比約140%のスピードで成長を続け、現在では累計利用件数が1億4000万件を突破するまでに至りました。2014年より、同サービスにより培った独自の与信ノウハウとオペレーション力を企業間取引向けに展開した「NP掛け払い」の本格販売を開始し、前年比約170%のスピードで成長を続けております。2017年には、購買体験がこれまでより快適になる新しいカードレス決済「atone（アトネ）」の提供を開始しました。さらに2018年には、台湾においてもカードレス決済サービス「AFTEE（アフティー）」をリリースしました。これらの事業を通じて、顧客の購買歴・支払い歴をあわせた取得難度の高い信用ビッグデータを保有しており、今後は様々な領域でのデータ活用・展開を模索していきます。

商号	: 株式会社ネットプロテクションズ
代表者	: 代表取締役 社長(CEO)柴田 紳
URL	: https://corp.netprotections.com/
主な事業概要	: BtoC通販向け後払い「NP後払い」の運営 BtoB向け後払い「NP掛け払い」の運営 BtoCサービス向け後払い「NP後払いair」の運営 新しいカードレス決済「atone（アトネ）」の運営 台湾 スマホ後払い決済「AFTEE(アフティー)」の運営 ポイントプログラムの運営
設立	: 2000年1月
資本金	: 1億円
所在地	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-2-6住友不動産麹町ファーストビル5F